

平成19年度事業報告

1. 総 会 (19.6.20 於高松市)

第45回定時総会

平成18年度事業報告ならびに決算(案)

平成19年度事業計画ならびに予算(案)

役員を選任

の3議案について審議し、
、
については原案どおり承認され、
については任期満了に伴い理事・監事が選任され、会長に大西会長が選任(再任)された。

特別講演

東京大学大学院教授 松井孝典^{たかふみ}氏から「宇宙の視点から考える地球環境問題」について、講演を承った。

2. 理 事 会

第1回(19.4.3 於高松市)

第45回定時総会付議事項について審議し、了承された。

第2回(19.6.20 於高松市)

副会長・常任理事の選任、専務理事・常務理事などの委嘱について審議し、
了承された。

3. 常任理事会

第1回(19.10.25 於高松市)

4月以降の事業活動実績ならびに今後の事業活動予定について報告するとともに、道州制や国際化への取り組みなどについて審議した。

第2回(20.3.17 於高松市)

10月以降の事業活動実績ならびに今後の事業活動予定について報告するとともに、平成20年度事業計画(案)について審議し、了承された。

なお、平成20年度事業計画(案)については、理事会に付議することも併せて了承された。

4 . 欧州経済視察団の派遣 (19.5.12 ~ 23 オランダ、イタリア)

大西会長を団長として、下記をテーマにオランダ、イタリアへ経済視察団(総勢25名)を派遣した。

人・モノ・情報の国際的な交流を機軸とする国と地域の発展
産学官連携、特色ある中小企業の集積による地域産業の振興
魅力ある地方都市の形成と交流人口の拡大

視察報告会 (19.10.22 於高松市)

5 . 委 員 会

(1) 国際化委員会

四国 国際化セミナー (19.10.9 於高松市)

ジェットロ香川との共催で、前日本貿易振興機構理事長で、現在は石油資源開発(株)副社長の 渡辺 修 氏から「東アジア経済統合と今後の日本経済」について講演を承った後、意見交換を行った。

(2) 産業委員会

講演会 (19.5.29 於松山市)

横浜国立大学大学院教授 三井逸友^{いづとも} 氏から「今日における地域イノベーションの可能性 - 地域の再生に四国の強みを活かす - 」について、講演を承った。

東アジア環境ビジネスセミナー (19.11.5 於高松市)

東洋大学教授 北脇秀敏 氏から「アジアにおける環境問題の現状と課題」について、また、(社)日本産業機械工業会 環境装置部部長 奥山正二 氏から「東アジアにおける環境ビジネスの課題と可能性」について講演を承った後、意見交換を行った。

(3) 観光委員会・四国西南開発特別委員会

講演会 (19.7.20 於四万十市)

(株)JTB地域ビジネス事業部プロデューサー 本間義信 氏から「四国西南地域とこれからの観光」について、また、高知大学教授 坂本世津夫^{せつお} 氏から「四国西南地域における産業振興戦略の方向」について、それぞれ講演を承った。

(4) 情報化委員会

講演会（19.4.11 於松山市）

(株)KDDI 研究所副所長 松本修一 氏から「ワンセグが促す通信・放送の融合と新ビジネスの可能性」について、また、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ マルチメディアサービス部 EC 戦略担当部長 坂口昌平 氏から「おサイフケータイの現状と今後」について、高松琴平電気鉄道(株) IC 拡張推進室部長 岡内清弘 氏から「メッシュネットを活用した IP コミュニケーション」について、それぞれ講演を承った。

(5) 資源・環境委員会

講演会（19.11.12 於高知市）

東洋大学教授 小川芳樹 氏から「地球温暖化 排出権取引と環境ビジネスの可能性」について、講演を承った。

(6) 国土政策委員会

「国土形成計画」に関する講演会（20.3.5 於松山市）

国土審議会計画部会部会長代理・中京大学総合政策学部長 奥野信宏 氏から「国土形成計画(全国計画)策定のねらいと広域地方計画への期待」について、また、四国地方整備局長 祢屋 誠 氏から「四国圏広域地方計画の策定状況」について、それぞれ講演を承った。

(7) 四国西南開発特別委員会

視 察（19.4.19～20 於愛媛県愛南町）

クロマグロ養殖の現状と課題等の説明を受けた後、養殖いけすを視察した。

(8) 社会構造問題特別委員会

講演会（19.12.11 於高松市）

(株)富士通総研 主任研究員 渥美由喜^{なおき} 氏から「経営戦略としてのワークライフバランス」について、講演を承った。

(9) 地方分権特別委員会

道州制シンポジウム（19.8.8 於高松市）

道州制についての理解促進、地域での議論喚起を図ることを狙いに、四国4県と共催で『道州制シンポジウム』を開催した。

渡辺喜美 道州制担当大臣の来賓挨拶の後、道州制ビジョン懇談会の江口座長と長谷川委員から講演を承った。引き続き、地元側から梅原四経連副会長はじめ3名が意見発表を行った後、意見交換を行った。

6. 四国新年交流会、理事懇話会、四経連懇話会

(1) 四国新年交流会（20.1.11 於高松市）

四国生産性本部との共催により、四国の産・官・学の代表が出席し、交流と親睦を図った。

(2) 理事懇話会、四経連懇話会

第171回(19.4.3 於高松市)

「四国における広域連携施策と県政の課題等」

香川県知事

真鍋 武紀 氏

第172回(19.5.10 於高松市)

「四国の観光の現状と取り組み」

四国運輸局 次長

藤井 照久 氏

第173回(19.6.14 於高松市)

「本州四国連絡橋の課題と四国の観光戦略への示唆」

本州四国連絡高速道路(株)社長

堀切 民喜 氏

第174回(19.7.4 於高松市)

「四国の情報通信基盤の整備」

四国総合通信局長

武井 俊幸 氏

第175回(19.9.12 於徳島市)

「東京に依存しない国土構造のあり方」

日本政策投資銀行 地域振興部参事役

藻谷 浩介 氏

第176回(19.10.3 於高知市)

「元気な地方のつくり方 ～ファミリー企業が地域を変える～」

『日経ベンチャー』発行人 兼 編集長

樋口 一郎 氏

第177回(19.11.22 於高松市)

「日本経済の現状と課題」

経済産業省 大臣官房総括審議官

近藤 賢二 氏

第178回(19.12.7 於高松市)

「裁判員制度を考える」

高松高等裁判所 長官

江見 弘武 氏

第179回(20.2.15 於松山市)

「21世紀の世界の水、日本の水」

NPO法人日本水フォーラム 事務局長

竹村 公太郎 氏

第180回(20.3.6 於高松市)

「わが国財政の現状と課題」

四国財務局長

清永 道也 氏

上記のうち、(高松市以外の開催)については四経連懇話会として、講演を承るとともに四経連役員と会員との意見交換を行った。

7. 他団体等との政策懇談

(1) 日本経済団体連合会との四国地域経済懇談会(20.3.12 於高知市)

経団連の御手洗会長はじめ幹部を迎えて、「成長創造 ~活力あふれる日本・四国の実現を目指して~」を基本テーマに、内外の重要課題について意見交換を行った。

(2) 西日本経済協議会(中部以西の6経済連合会で構成)

第49回総会(19.9.14 於大阪市)

「地域の自立と連携による日本の新たな発展 - 西日本からの提言 -」を統一テーマに、静岡文化芸術大学学長 川勝平太 氏から「文化力による豊かな国づくり」について講演を承るとともに、西日本の6経済連合会の代表による意見発表を行い、総会決議文を採択した。

要 望(19.11.14 於東京都)

西日本6経済連合会の会長が、第49回総会決議を福田首相、町村内閣官房長官、甘利経済産業大臣はじめ関係大臣、与党首脳に要望した。

- (3) 中四国サミット（19.9.5 於鳥取県伯耆町^{ほうき}）
中四国9県知事と中国・四国の両経済連合会会長が出席し、過疎対策や広域連携のあり方等について意見交換を行った。
また、「地方分権改革の推進と地方税財源の充実強化」、「地域間格差の解消」に向けた2つの共同アピールを採択した。
- (4) 四国出身経営者の方々との情報交流会（19.11.7 於東京都）
首都圏で活躍されている四国出身の経営者の方々と当会役員が意見交換を行い、四国の活性化方向等についての示唆やアドバイスを得た。
- (5) 経済産業事務次官と四国経済界との懇談会（19.5.18 於高松市）
北畑経済産業事務次官と当会役員等が、地域経済について意見交換を行った。
- (6) 四国金融経済懇談会（19.7.25 於高松市）
我が国の金融政策や四国の経済・金融情勢などについて、福井日本銀行総裁と当会役員が意見交換を行った。

8．共催フォーラム等

- (1) 新四国創造フォーラム（20.2.7 於徳島市）
『東アジアをターゲットにした四国一体となった観光振興』をテーマに、「四国の観光を考える百人委員会」と共同で、フォーラムを開催した。
㈱ツーリズム・マーケティング研究所 取締役マーケティング事業部長 高松正人氏から「東アジア各国の海外旅行市場からみた四国～広域連携によるインバウンド観光促進をめざして～」について基調講演を承った後、同氏をコーディネーターに、パネルディスカッションを行った。
- (2) 「アジア・ゲートウェイ構想」説明会（19.8.22 於高松市）
平成19年5月にとりまとめられた「アジア・ゲートウェイ構想」について、内閣官房企画官 山下隆一氏から説明を受け、意見交換を行った。
- (3) 台湾三三会との懇談会（19.11.20 於高松市）
台湾最大の経済団体「三三会」が香川県を訪問されたのを機に、地元経済界との交流行事として、台湾と四国の経済等について意見交換し、交流を深めた。

9 . 産学官連携

(1) 四国水問題研究会(19.6.13, 19.10.5, 20.1.24 於高松市)

近藤名誉会長が同研究会会長となって、渇水や洪水対策など四国4県が共有する吉野川水系等の水問題について、産学官で総合的に議論・検討を進めた。

(2) 四国総合ホームページ『ウェルカム！四国』

産学官連携プロジェクトの一環として、四国が一つになった取り組みや四国各地の産業・観光関連情報を集積・発信しており、その内容の充実に努めた。

19年度のアクセス数は、約160万件となった。

(3) 高松5：30クラブ（於高松市）

四経連はじめ四国経済産業局、高松商工会議所など7団体が共同で、人的交流を広げ地域を活性化するための異業種交流会として、年7回開催した。

10 . 社会基盤整備

(1) 明日の地域づくりを考える四国会議（四経連はじめ四国の4経済団体で構成）

懇談会・提言（19.10.12 於東京都）

大西会長はじめ四国の4経済団体の代表が出席し、地方分権および社会基盤整備に関する提言「生き生きと自立した四国の実現に向けて」を決議した。

その後、自由民主党四国地方開発委員会の中谷委員長はじめ委員会メンバー18名との意見交換を行った。

引き続き、国土交通省の峰久事務次官はじめ幹部13名と懇談。当四国会議からの提言を説明し、社会基盤整備や本四連絡橋通行料金引き下げ等について意見交換・要望を行った。

(2) 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

テレビフォーラム（19.10.17 於東京都）

4県知事とともに、大都市と地方との格差是正や四国8の字ネットワークの早期実現の必要性を訴えるテレビフォーラムを開催した。

なお、フォーラムの様子は、11月4日(日)にBS日テレで全国放送された。

(3) 四国フリーゲージトレイン導入期成会

総 会

平成18年度事業報告・決算報告ならびに平成19年度事業計画・予算について、書面により審議し、平成19年6月6日付で了承された。

要 望（19.6.7 於東京都）

四経連および香川県が、期成会を代表して、フリーゲージトレインの四国への導入について、国土交通省に要望した。

(4) 四国地方整備局・四国運輸局との意見交換会（19.6.11 於高松市）

社会資本整備や地域づくりのあり方などについて、当会役員と四国地方整備局長、四国運輸局長等が意見交換を行った。

(5) 太平洋新国土軸構想推進協議会

総 会

平成18年度事業報告・決算報告ならびに平成19年度事業計画・予算等について、書面により審議し、平成19年5月10日付で了承された。

要 望（19.5.23 於東京都）

太平洋新国土軸構想の実現に向け、国土交通省に要望した。

(6) 紀淡海峡交流会議

総 会

平成18年度事業報告・決算報告ならびに平成19年度事業計画・予算について、書面により審議し、平成19年7月31日付で了承された。

(7) 豊予海峡ルート推進協議会

総 会

平成18年度事業報告・決算報告ならびに平成19年度事業計画・予算について、書面により審議し、平成19年6月15日付で了承された。

要 望（19.6.6 於東京都）

豊予海峡ルートの実現に向け、国土交通省に要望した。

(8) 中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会

総 会 (19.7.9 於広島市)

四経連など46経済団体の代表が出席し、平成18年度事業報告・決算報告ならびに平成19年度事業計画・予算について審議し、了承された。

要 望 (19.9.20 於東京都)

中四国セントラルルートの実現に向け、国土交通省、財務省および与党の首脳、地元選出国會議員に要望した。

11. 特性を生かした地域づくり

(1) 歴史・文化道推進協議会

(四経連はじめ四国の官民15団体で構成。会長は大西四経連会長)

総 会 (19.4.23 於高松市)

平成18年度事業報告・決算ならびに平成19年度事業計画・予算等について審議し、了承された。

歴史文化道ウォーク (19.5.27 於香川県琴平町, 20.1.19 於鳴門市)

歩き旅行用ガイドブック『四国歴史文化道ウォーク』の発刊記念として、ウォーキングイベント「金毘羅歴史文化道ウォーク」と「阿波歴史文化道ウォーク」を実施した。

四国語り部交流会 (19.10.16~17 於新居浜市)

四国における語り部活動の一層の充実や、語り部との連携強化を図るため、観光ボランティアガイド団体の代表者と意見交換を行った。

また、地元ガイドの案内でマイントピア別子や新居浜太鼓祭りを視察した。

(2) 四国八十八ヶ所みち案内連絡会 (19.9.3, 19.12.17 於高松市)

四国八十八ヶ所を訪れる巡拝客等への望ましい「みち案内」の環境づくりを目指し、道路管理者等とともに検討を進めている。

「みち案内表示」に関する社会実験 (19.4.16~5.31)

四国霊場第9番札所 法輪寺~第10番札所 切幡寺の間で、試行的に「標識シート」をカーブミラーの支柱等に貼付し、利用者の意見をアンケート調査した。

(3) 四国風景街道協議会（19.8.31 於高松市）

地域が一体になって道路周辺の景観づくりに取り組む「風景街道」の活動を支援するため、官民による「四国風景街道協議会」が設立され、大西会長が同協議会会長に選任された。

(4) 四国アイランドリーグ「四経連 特別協賛試合」（19.7.7 於高松市）

四国アイランドリーグ選抜 vs 読売ジャイアンツ(二軍)の交流戦が、「四経連 特別協賛試合」として開催され、会員企業提供賞品が当たるお楽しみ抽選会等を行った。特別協賛試合は昨年につき2度目。

また、会員企業の協力を得て、公式戦観戦チケット等の販売支援を行った。

(5) サッカーJ2観戦ツアー（19.9.30 於松山市）

地域に密着したスポーツ支援の一環として、J2の四国ダービー「愛媛FC vs 徳島ヴォルティス」観戦バスツアーを実施した。

12. 青少年の科学教育支援

(1) 科学体験イベント { 19.8.4~5 於徳島市, 19.10.14 於阿南市,
19.11.10~11 於高松市, 19.12.2 於高知市 }

四国各地で開催される科学体験イベントに会員企業が出展・協力を行った。

(2) 学生を対象とした工場見学（19.10.23 於阿南市, 徳島県北島町）

四国の産業や技術を支える人材育成を支援するため、阿南工業高等専門学校の学生を対象に、四国化工機(株)と日亜化学工業(株)のご協力を得て、工場見学を実施した。

(3) キャンパス・ベンチャー・グランプリ四国

（審査会 19.12.14, 表彰式 20.2.8 於高松市）

日刊工業新聞社、中国四国産業人クラブと共同で、学生から起業アイデアを募る「第5回キャンパス・ベンチャー・グランプリ四国」を開催した。四国の大学、高専等から45件の応募があり、最優秀賞2件をはじめ、優秀賞、特別賞、奨励賞等を選考・表彰した。

13. 調査事業

景気動向調査

会員企業等を対象に、四半期毎に、景況感・生産動向などのアンケート調査ならびに消費・マネーフロー・物流動向のヒアリング調査を実施し、「四経連景気動向調査」として結果をとりまとめ、公表した。

(19年6月,9月,12月,20年3月)

四国企業のサマータイム等に関するアンケート調査 (19.9.26 発表)

会員企業等を対象に、サマータイム制度の導入に関する意識や、地球温暖化防止および省エネルギーに関する取り組み状況についてアンケート調査を実施し、結果を公表した。

(調査期間 19年8月27日～9月7日、回答数 285社)

14. 受託事業

内閣府の景気ウォッチャー調査など地域経済の動向調査 (19年4月～20年3月)

15. 平成19年度加入会員

県別	種別	企業名	業種	代表者
香川	法人	(株)穴吹コミュニティ	建物の維持管理業等	代表取締役社長 朝倉 泰雄
"	"	(株)穴吹ミサワホーム	住宅建築工事、住宅販売	代表取締役社長 嶋津 哲
"	"	日本栄船(株)坂出支店	曳船業、海運業等	坂出支店長 藤西 正治
愛媛	法人	(株)エヌ・ティ・ティ・データ四国	情報システム等の開発・販売等	代表取締役社長 桜井 洋一
"	"	郵便局(株)四国支社	郵便等に関する窓口業務等	四国支社長 宮崎 寿一
"	"	郵便事業(株)四国支社	郵便事業、物流事業	四国支社長 奥 公彦
高知	法人	岡島海運(株)	砂利採取販売、海運業等	代表取締役社長 岡島 喜三

(7会員)

会員数一覧表

(平成20年3月末現在)

	徳島	香川	愛媛	高知	四国外	計
企業数	26	160	60	22	8	276
団体数	10	13	15	7	1	46
計	36	173	75	29	9	322

以上

四国経済連合会 平成19年度決算

(1) 平成19年度収入・支出決算書

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (B) - (A)
会 費 収 入	72,280,000	73,400,000	1,120,000
業 務 受 託 収 入	6,060,000	5,482,985	577,015
雑 収 入	62,000	200,637	138,637
前 年 度 繰 越 金	5,088,322	5,088,322	0
合 計	83,490,322	84,171,944	681,622

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 (B) - (A)
人 件 費	20,962,000	21,087,946	125,946
借 室 料 等	6,650,000	6,635,420	14,580
事 務 費	9,940,322	8,631,994	1,308,328
委 員 会 等 活 動 費	19,745,000	16,765,177	2,979,823
総会・理事会・委員会等	10,650,000	9,727,175	922,825
交流・懇談・セミナー等	9,095,000	7,038,002	2,056,998
調 査 費	9,961,000	8,023,126	1,937,874
広 報 出 版 費	16,038,000	11,726,771	4,311,229
公 租 公 課 (消 費 税)	194,000	180,200	13,800
小 計 (事 業 活 動 費)	83,490,322	73,050,634	10,439,688
事 業 推 進 積 立 金 計 上	0	2,600,000	2,600,000
次 年 度 繰 越 金	0	8,521,310	8,521,310
合 計	83,490,322	84,171,944	681,622